

平成 30 年度 第 8 回科学の甲子園大阪府大会 実施要項

1 目的

府内の高等学校、中等教育学校後期課程及び高等専門学校等の生徒等を対象に、科学技術、理科、数学等における複数分野の競技を開催することにより、科学に興味のある生徒を増やすとともに、生徒の科学に関する知識や技能の向上を図る。

- 2 主催 大阪府教育委員会
共催 大阪工業大学

- 3 日時 平成 30 年 10 月 21 日（日） 9 時 00 分 ～ 17 時 00 分

- 4 場所 大阪工業大学大宮キャンパス

5 出場資格

- (1) 大阪府内に設置されている国立、公立、私立の高等学校、中等教育学校後期課程及び高等専門学校等（以下、「高等学校等」という）の生徒等であること。
- (2) 出場は 1 校 1 チームとする。出場チームは、同一の高等学校等に在籍し、高等学校 1、2 学年に相当する学年の生徒 6 名で編成していること。
- (3) 生徒が在籍する高等学校等の教員が引率できること。

6 競技内容

- (1) 筆記 1 競技(120 分)と実技 2 競技(各 120 分)を実施する。
- (2) 筆記競技は、理科（物理・化学・生物・地学）、数学、情報の中から、習得した知識をもとにその活用について問う問題で競うものとする。なお、教科・科目の枠を超えた融合的な問題を出題することがある。
- (3) 実技競技は、理科（物理分野、化学分野）にかかわる実験、実習、考察等、及び科学技術を総合的に活用して、ものづくりの能力、コミュニケーション能力等により課題を解決する力を競うものとする。

7 競技の形式

筆記競技、実技競技ともに、各出場チームが競技ごとに定められた複数人からなる競技チームを構成し、当該競技チームが問題等を分担、相談するなど協働して成果を創出し、その成果を競い合う形式のものとする。

競技数、競技者数、配点比率及び競技時間は以下のとおり。

種目	競技数	競技者数	配点	競技時間
①筆記競技	1 競技	6 名 / 1 競技	360 点満点	120 分 / 1 競技
②実技競技	2 競技 (物理・化学)	3 名 / 1 競技	180 点 × 2 競技 360 点満点	120 分 / 1 競技

8 表彰等

- (1) 主催者が定めた審査委員会が、各競技の成績点数の合計(720 点満点)によって優勝チームを決定する。
- (2) 総合順位の上位 8 位までを入賞とし、上位 3 位まで表彰する。
- (3) 実技競技の 1 位については、別途表彰(大阪工業大学 サイエンステクノロジー賞)する。
- (4) なお、優勝チームは、平成 31 年 3 月 15 日(金)から 18 日(月)までの 4 日間、ソニックシティ及びさいたま市記念総合体育館で開催される第 8 回「科学の甲子園全国大会」に大阪府代表として出場する。

9 応募方法

学校長の推薦を受けて、別紙応募用紙に記入の上、電子メールに添付した電子ファイル(ファイル名:学校名_H30 科学の甲子園応募用紙.xlsx)にて、大阪府教育庁教育振興室高等学校課教務グループに提出すること。

10 参加申込み期限

平成 30 年 9 月 3 日(月)

11 その他

(1) 時程

時間帯	内 容	
8:30 ~ 8:55	受 付	
9:00 ~ 9:25	開会式・説明(1号館2階121教室)	
9:30 ~ 11:30	筆記競技(120分) (1号館2階121教室 および 8号館4階ラーニングcommons)	
11:30 ~ 12:15	昼食・休憩(1号館2階121教室 または 6号館1階食堂を利用)	
12:15	再集合(1号館2階121教室) 点呼後、各実技競技会場へ移動	
12:30 ~ 14:30	実技競技①(物理)(120分) (7号館6階765教室)	実技競技②(化学)(120分) (10号館7階学生実験室2)
	※ O I Tホールへ移動	
15:30 ~ 16:30	講演会「知的財産の世界 ～創作をビジネスにする仕組み～」 大阪工業大学 知的財産研究科 杉浦 淳 教授	
16:30 ~ 17:00	閉会式(結果発表・表彰・講評)	

(2) 競技選手の変更については以下のとおりとする。

各競技には事前に参加登録した生徒以外は参加できない。ただし、病気や体調不良等の事情により当日参加できない生徒がいる場合は、補欠として登録した者(2名以内)と変更することができる(変更は、開会式までに申し出ること。開会式後の選手の変更は認められない。)

(3) 科学の甲子園大阪府大会エントリー校を対象に、「平成 30 年度科学の甲子園大阪府大会実技競技対策基礎実験講座」を平成 30 年 9 月 15 日(土)大阪工業大学大宮キャンパスにて開催し、実験・実習における基本的な技術の習得を図る。